

□要請番号 (JL02422A09)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ラオス	G157 日本語教育	20~45 歳のみ	個別	交替 5代目	2年	・2022/4・2023/1・ 2023/2・2023/3

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

教育スポーツ省

2) 配属機関名 (日本語)

サワンナケート大学言語学部日本語学科

3) 任地 (サワンナケート県カイソーン・ホムヴィハーン市) JICA事務所の所在地 (首都ビエンチャン)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (飛行機で約1.0時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

2009年にラオスで4番目の国立総合大学として設立、言語学部、経営学部、自然科学部、農学部、食品化学部、教育学部、工学部、ITセンターを有する。2017年11月に日本語学科が開設され、2021年に初めての卒業生を送り出した。現在、学科の学生数は各学年20名程度で4学年合計73人、教員数は4名である(うち2名は同学科の卒業生でボランティアのインターン)。コロナ禍により、1年生のみ対面授業、2~4年生はオンライン授業を行っている。過去に4名の隊員(短期含む)が派遣されており、前任は2021年12月まで活動を行っていた。2022年9月に新キャンパスへの移転が予定されている。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

サワンナケート県の経済特区には日本企業も進出しており、徐々に日本語を話せる人材の需要が増加している。配属先では4学年で約80名が日本語を学んでいるが、中・上級レベルを目指す上級生の授業については、現地教員の教授経験が少ないので指導できる人材が不足している。通常の授業や教員への助言に加え、同僚と協力して当該日本語学科の特徴である商・工業やビジネスに特化した日本語の授業、日本文化・現状を理解するための授業、イベント等の企画・実施を行う人材が必要とされ、本要請に至った。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- 日本語学科の教員で分担し、ラオス人学生への授業実施(1クラス20人程度、1コマ90分、週7~8コマを担当、1~4年、ゼロ初級~中級)
 - ラオス人教員が行う初級・中級レベルの授業のサポート、教授法改善に関する助言
 - カリキュラム・シラバスの整備
- ※ラオス国立大学日本語学科から定期的に指導方法・教材・カリキュラムの内容についてのサポートがあるため、日本語教育に関する全般的な相談が可能
- イベント等の運営支援(日本語スピーチコンテスト等の企画・実施)

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

教科書『みんなの日本語』など、プロジェクター、CDプレイヤー、コピー機

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:常勤の教員4名(教員2名、ボランティア2名)
30代女性/教授歴8年/JLPT N3/訪日研修(6ヶ月・6週間)、20代女性2名、20代男性1名

活動対象者: 学生、同僚教員

5) 活動使用言語

ラオ語

6) 生活使用言語

ラオ語

7) 選考指定言語

英語(レベル:D)又はラオ語(レベル:D)

【資格条件等】

[免許/資格等]：（日本語教育に関する資格）

[学歴]：（大卒） 備考：大学での指導のため

[性別]：（ ） 備考：

[経験]：（実務経験）2年以上 備考：同僚への指導を行うため

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（熱帯モンスーン気候） 気温：（15~40°C位） [電気]：（安定）

[通信]：（インターネット可 電話可）

[水源]：（安定）

【特記事項】

大学は街の中心部から離れた場所に位置するため、郊外(大学近く)に住む可能性がある。

【類似職種】